

戯曲のひろば

「戯曲って、
どんなもの？」



【講師】
劇作家・演出家
坂手洋二

メッセージ

いま、あなたの目の前にある「戯曲」と名付けられた言葉の列は、

「演劇」のために用意された設計図であり、滑走路である。

舞台で行われる営為のための幹であり、枝葉である。

俳優に必要な骨格であり、血肉である。

発される言葉のための楽譜であり、呼吸の源である。

それはある出会いの積み重ねの中で

必然的に生み出された唯一無二のものでありながら、

異なる時代、場所、身体と、観客たちによって、

新たに再生されることがある。

それは、奇跡の出会いを実現する、ひろばである。

「演劇に興味はあるけれど、どうしたら
いいかわからない」

「そもそも戯曲ってどんなもの？」

そんな方に来て頂きたいのがこの「戯曲のひろば」です。

岡山出身の劇作家・演出家である坂手洋二氏が、戯曲の

魅力や解釈などについて語ります。

お寺の本堂という日常とは離れた空間で、戯曲に触れて

みませんか？

ぎ・きよく【戯曲】

演劇の脚本・台本。人物の会話や独白、ト書きなどを通じて物語を展開する。また、そのような形式で書かれた文学作品。ドラマ。

——大辞泉より

2021年

11月21日 | 日 | 13:00 - 16:00

いんりょうじ
蔭涼寺

岡山市北区中央町10-28

【定員】20名程度 【対象】高校生以上
【参加費】500円(税込)

参加者の方には事前に指定する戯曲を読んで頂いたうえでご参加頂く場合があります。



ハレノワワークショップ

2023年9月1日にグランドオープンを迎える岡山芸術創造劇場ハレノワでは、舞台芸術の魅力を広く知って頂くためにワークショップを開催しています。演劇・ダンスの劇作家・演出家・役者・振付家など、各分野で活躍しているアーティストが、舞台芸術の魅力・楽しさを岡山に伝えます！

戯曲のひろば

岡山芸術創造劇場 プレ事業

PROFILE

劇作家・演出家。1983年、〈燐光群〉旗揚げ。国内外で公演を重ねる。1993年、劇作家協会創設に参加。2006～2016年、同会長。岸田國士戯曲賞、鶴屋南北戯曲賞、読売文学賞、紀伊國屋演劇賞、朝日舞台芸術賞、読売演劇大賞最優秀演出家賞を受賞。オペラ、翻訳戯曲等、演出のみの仕事も手掛ける。作品に『カムアウト』『くじらの墓標』『神々の国の首都』『天皇と接吻』『屋根裏』『最後の一人までが全体である』『ブラインド・タッチ』『だるまさんがころんだ』『カウラの班長会議』等。



【講師】
坂手 洋二
さかて ようじ



申込方法／申込先

【申込締切】2021年11月5日(金) 必着 ※応募者多数の場合は抽選あり

- 岡山芸術創造劇場ウェブサイト 申込フォーム→
- F A X 086-225-0156
- メール theaterplanning_event@ocac.jp



- 郵送 〒700-0823
岡山市北区丸の内二丁目1番1号(岡山市民会館4階会議室)
岡山芸術創造劇場「戯曲のひろば」係にて

【申込用紙】FAX・郵送の場合はこちらにご記入の上お送りください。

ふりがな	年齢	歳	性別	男・女	職業／学校名
氏名					
〒	住所		連絡先	電話	
				メール	
応募動機	※演劇経験のある方は、内容を明記してください。		備考欄(気になることがあればご記入ください)		

ご記入頂いた個人情報は、(公財)岡山文化芸術創造が責任を持って管理します。
また、本ワークショップ及び今後の事業の案内以外には使用しません。今後の案内を希望されない場合は□にチェックをしてください。

希望しない

【会場】蔭涼寺

岡山市北区中央町10-28

ACCESS

- 岡山駅より徒歩の場合、約18分
- 大雲寺電停より西へ300m
- 大病院筋バス停より東へ70m
- 各めぐりん(巡回バス)山陽新聞社:TSC前、または大雲寺前下車徒歩4分

新型コロナウイルス感染拡大予防に関するご案内

- 実施会場について安心して参加頂けますよう、対策を強化しております。
- 各所にアルコール消毒液を設置、また施設内各所の消毒をしております。
 - 必要に応じて扉の開放も行うなど、十分な喚起に努めています。
 - スタッフはマスク等を着用し、体調管理強化に努めています。



【問合せ先】岡山芸術創造劇場

TEL 086-225-0154

平日10:00～17:00 担当:岡田・土井原

【主催】公益財団法人 岡山文化芸術創造
【企画・制作】岡山芸術創造劇場

【共催】岡山市